

## 卒業生の進路から思うこと①

(卒業時、訓練校に進んだ卒業生について)

本校に入学された生徒・保護者の皆さんの多くは、「卒業後は就職したい」という希望をもっておられます。ただ、過去の記録を見ると、就職するのは約8割で、2割の方は就職以外の進路先を選んでおられます。

保護者の立場からすると、卒業時に就職しなかった人が、その後どのような進路に進んでいったかは気になるころだと思います。以下に、ここ数年間の卒業生のデータをまとめた表を載せます。

今回は特に、訓練校に進んだ卒業生の様子を見てみましょう。

| 卒業時点            |     | 移行先         |             |     |          |            |
|-----------------|-----|-------------|-------------|-----|----------|------------|
| 進路先             | 人数  | 一般企業へ<br>就職 | A型へ         | B型へ | 退校<br>退所 | 移行せず       |
| 訓練校             | 8人  | 6人          | 1人          | 0人  | 1人       | 訓練期間<br>1年 |
| 就労継続支援<br>A型事業所 | 24人 | 0人          | 他のA型へ<br>2人 | 0人  | 4人       | 18人        |
| 就労移行支援<br>事業所   | 11人 | 6人          | 1人          | 1人  | 3人       | 訓練期間<br>2年 |
| 就労継続支援<br>B型事業所 | 8人  | 1人          | 1人          | 0人  | 0人       | 6人         |

\* 卒業後、9年目から2年目の卒業生（8年間分）のデータ

\* 卒業時点で就職、その後退職してA型、B型、就労移行に移行した人は含まれていません

表のように、訓練校に進んだ卒業生の多くが、1年の訓練期間を経て一般企業に就職されています。18歳の時点で就職しなくても、しっかり働く準備（訓練）をして、19歳から働く選択肢も、視野に入れていただきたいと思います。裏面に、訓練校の情報を記します。

兵庫県には知的障害者を対象とした訓練校が3つあります。

①国立県営兵庫障害者職業能力開発校「総合実務科」

伊丹市東有岡4丁目8番地

②兵庫県立障害者高等技術専門学院「総合実務科」

神戸市西区曙町1070番地

③阪神友愛食品株式会社能力開発センター「食品流通科」

西宮市鳴尾浜3丁目10-1



いずれも訓練期間は1年、定員は15名です。授業料無料（テキスト代実費）。

オープンキャンパスの案内など、適宜配布や紹介をしていますが、訓練校も視野に入れている人は、各校のHPがありますので、興味がある人は情報をこまめに確認するようにしましょう。訓練校を受験する場合は、就職活動と掛け持ちすることはできません。

## 兵庫県特別支援学校認定資格にかかる技能検定について（お知らせ）

令和8年度兵庫県特別支援学校技能検定（ビルクリーニング部門／パソコン部門）が下記日程で開催されます。

1：日時及び会場

ビルクリーニング部門 8月4日（火） 県立阪神昆陽特別支援学校

パソコン部門 7月下旬 県立高等特別支援学校

（詳細は授業担当者より連絡があります）

2：留意事項

- ・自主練習ができるように作業室の開放日を設けます。
- ・検定当日は現地集合、解散です。教師の引率はありません。生徒一人で受検する際は会場までの経路を保護者の責任で下見してください。

3：その他

検定には喫茶部門・物流品出し部門もありますが、本校の就労の実態とは隔たりがあることから本校では取組んでいません。

また、進路希望により、学校から個別に検定の受検に関してご相談させて頂く場合もあります。

以上のように技能検定について進めていきますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

